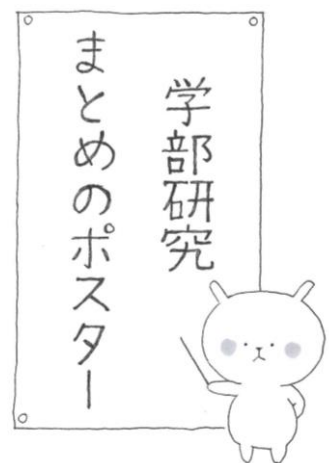


資料編

学 部 研 究
ま と め の
ポ ス タ ー



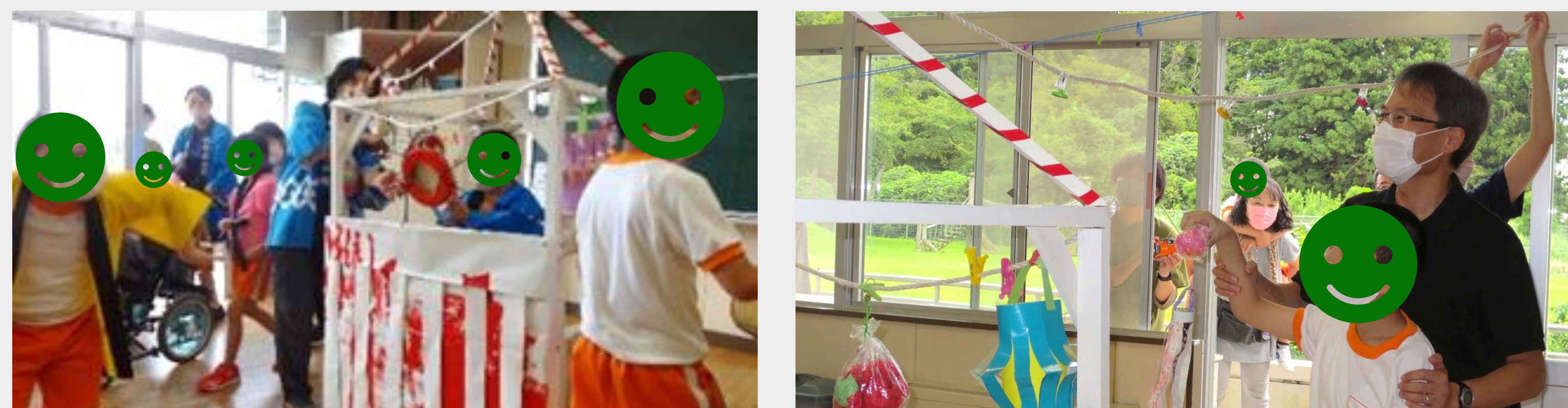


取組の概要

指導の形態及び指導内容	実践数	24人の教員が27の実践...実践率 113%
教科等を合わせた指導	日常生活の指導 1 遊びの指導 12 生活単元学習 14	
教科別の指導	0	
自立活動	0	実践した指導の形態及び指導内容と実践数のグラフ

研究授業

4年生 生活単元学習「夏を楽しもう」(9月2日)



やぐらを囲んで盆踊りを楽しむ様子

自分で作った飾りに触れる児童

単元の目標	育成を目指す主な教科等の資質・能力
① 水遊びや盆踊りなどの行事を通して、夏の特徴に関心を持つことができる。	① 【生活:小2:サ(イ)】身近な生命や自然について知る。 ② 【図工:小2:A(イ)】身近な材料や用具を使い、書いたり、形作ったりする。 ③ 【音楽:小2:Aエ(ア)】示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす。
② 夏の植物や行事を題材にした制作活動に、楽しんで取り組むことができる。	④ 【生活:小2:サ(ア)】自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする。 ⑤ 【生活:小2:エ(ア)】身近な遊びの中で、教師や友達と簡単な遊びをしたり、遊びを工夫しようとする。 ⑥ 【図工:小2:A(ア)】材料や感じたこと、想像したこと、見たことから表現したいことを思い付く。 ⑦ 【音楽:小2:Aエ(ア)】身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いを持つ。
③ 夏の過ごし方を知ることができる。	⑧ 【音楽:小2:Aエ(ア)】身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いを持つ。

主 (上記を主体的に学び、生活に生かそうとする態度を養う。)

研究授業を振り返って

- ▷ 視点を焦点化した参観とワークショップ型事後検討会
- ▷ 資質・能力の育成を踏まえた単元の構成や学習過程の工夫
- ▷ 自身の実践と照らし合わせながらの学び
- ▷ 個を育成する視点と集団の学習を成立する視点の両立

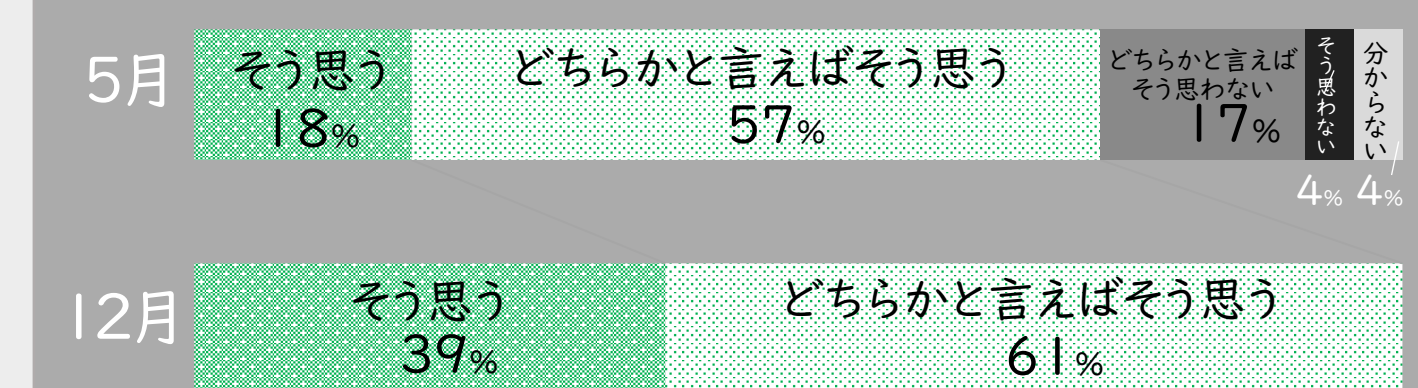


授業の説明動画

意識調査の結果と考察

【設問1】目標と資質・能力

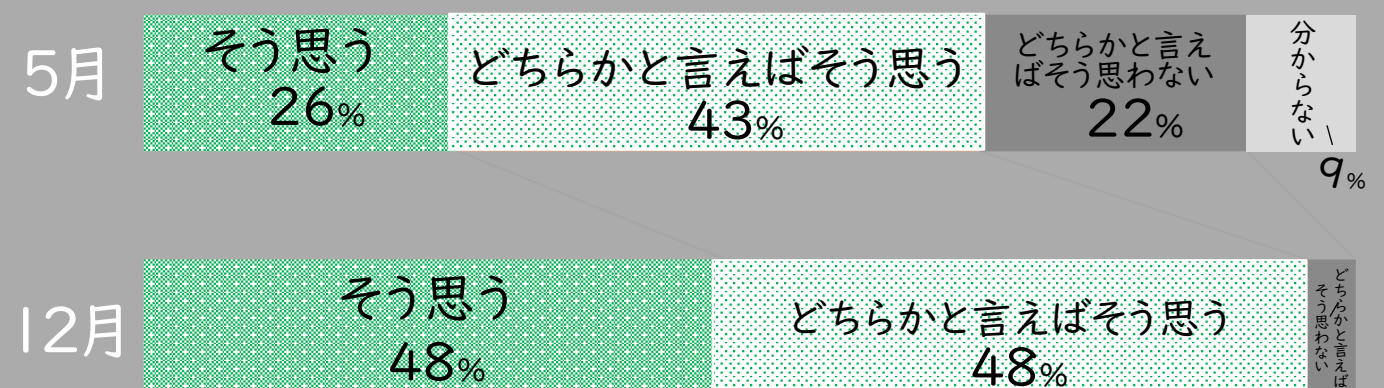
単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践している。



【考察】肯定的な回答が100%になったことから、小学部の全教員が単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践する意識が高まったと考えられる。

【設問2】児童の段階

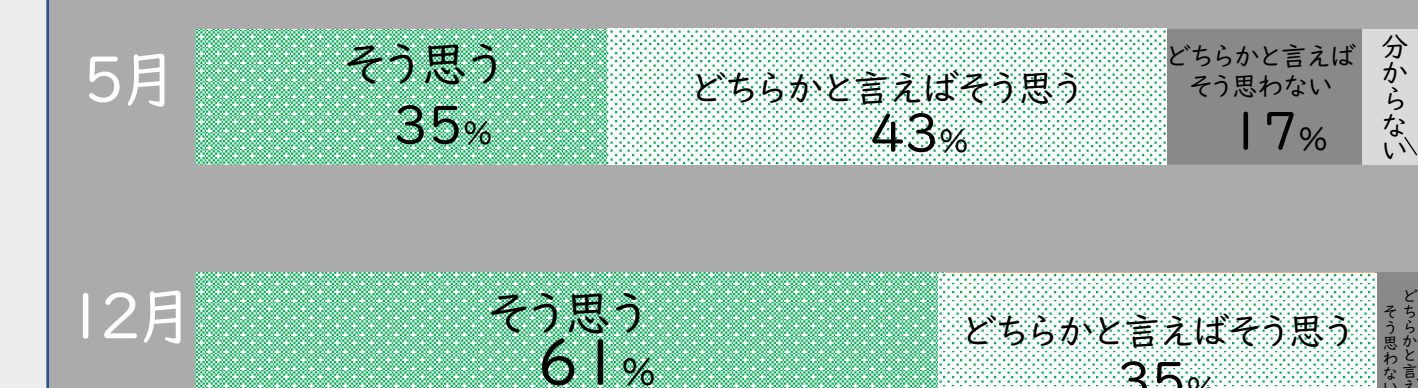
学習指導要領で示されている目標及び内容について、当該の段階と下の学年の段階の児童生徒が学習集団を形成している場合、それぞれの児童生徒の段階を踏まえて実践している。



【考察】肯定的な回答が増え、「そう思う」は20%以上増えた。それぞれの児童の段階を踏まえて実践する意識が高まったと考えられる。

【設問3】教員間の協働

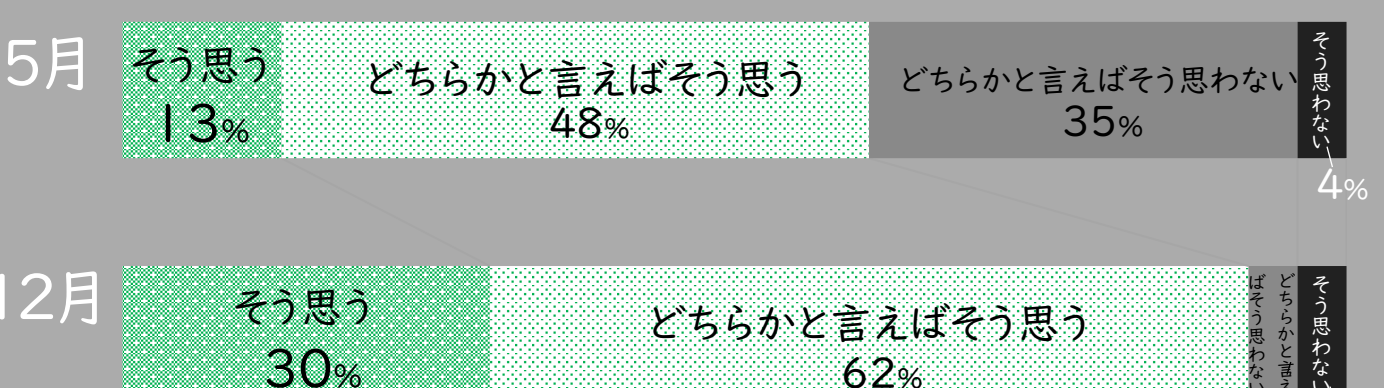
学習集団を形成している児童生徒一人一人の目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容を検討している。



【考察】肯定的な回答が増え、「そう思う」は26%増えた。児童一人一人の目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容を検討する意識が高まったと考えられる。

【設問5】学習評価

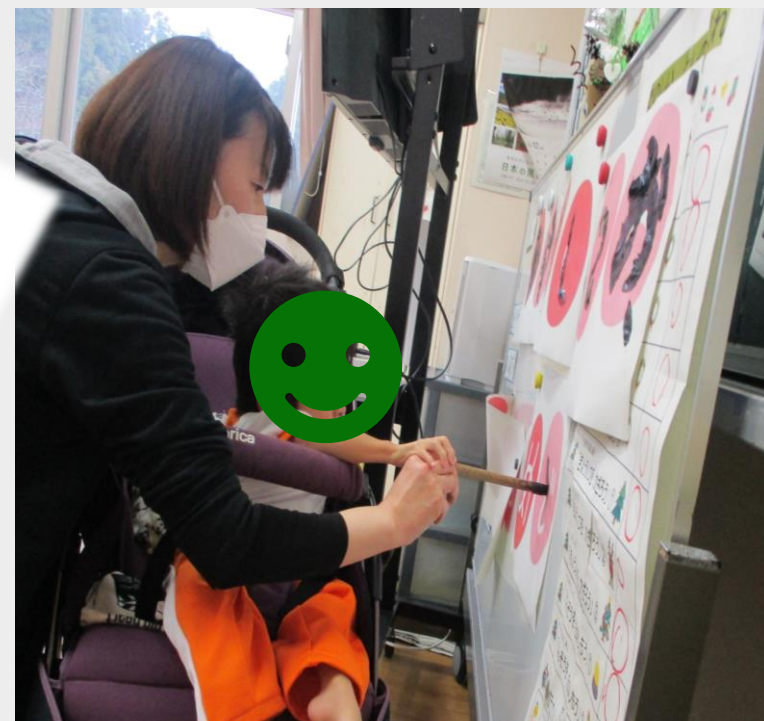
児童生徒一人一人の学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価をしている。



【考察】肯定的な回答が増えた。それぞれの児童の学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価をする意識が高まったと考えられる。

授業実践の紹介 1年生 生活単元学習「楽しい年の暮れ」
2,3年生 遊びの指導「感触遊びをしよう」

「全員の目標、配慮等を確認し、授業に臨むことができました。把握しやすかったです。」(M先生)



新年のあいさつを書く児童



スライムを作って遊ぶ学習

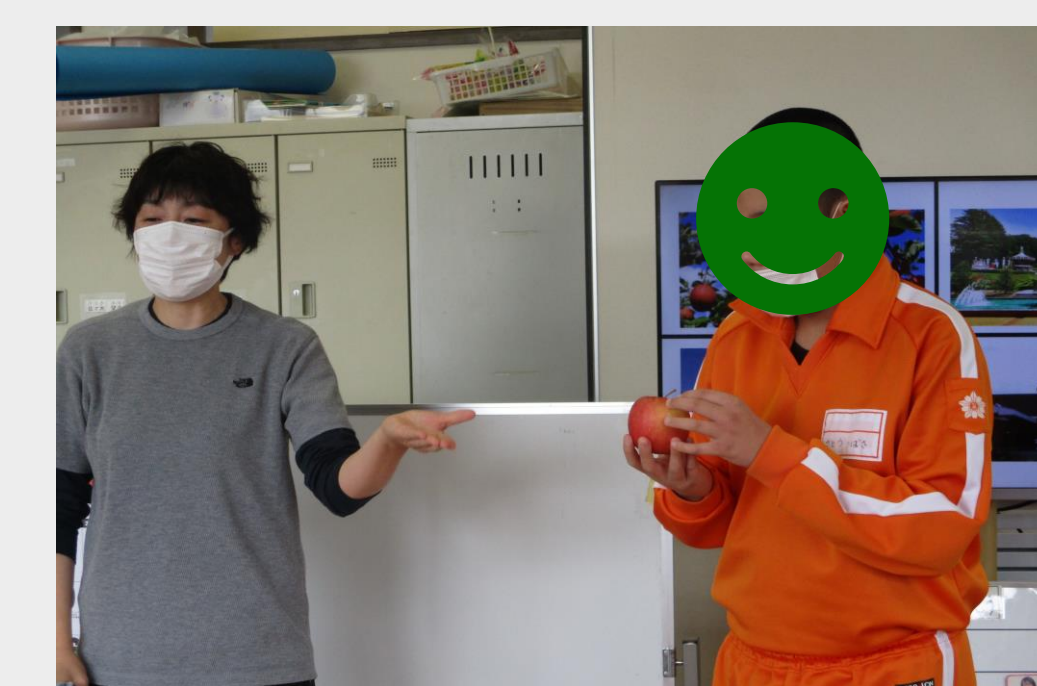
「担当以外の児童をみることもあったり、T1の補助に入ったりすることもあるため、児童の目標を共有する単元シートは有効でした。」(M先生)

教員間で共有した「個別の目標」と実践を深めるために活用した「メモ欄」

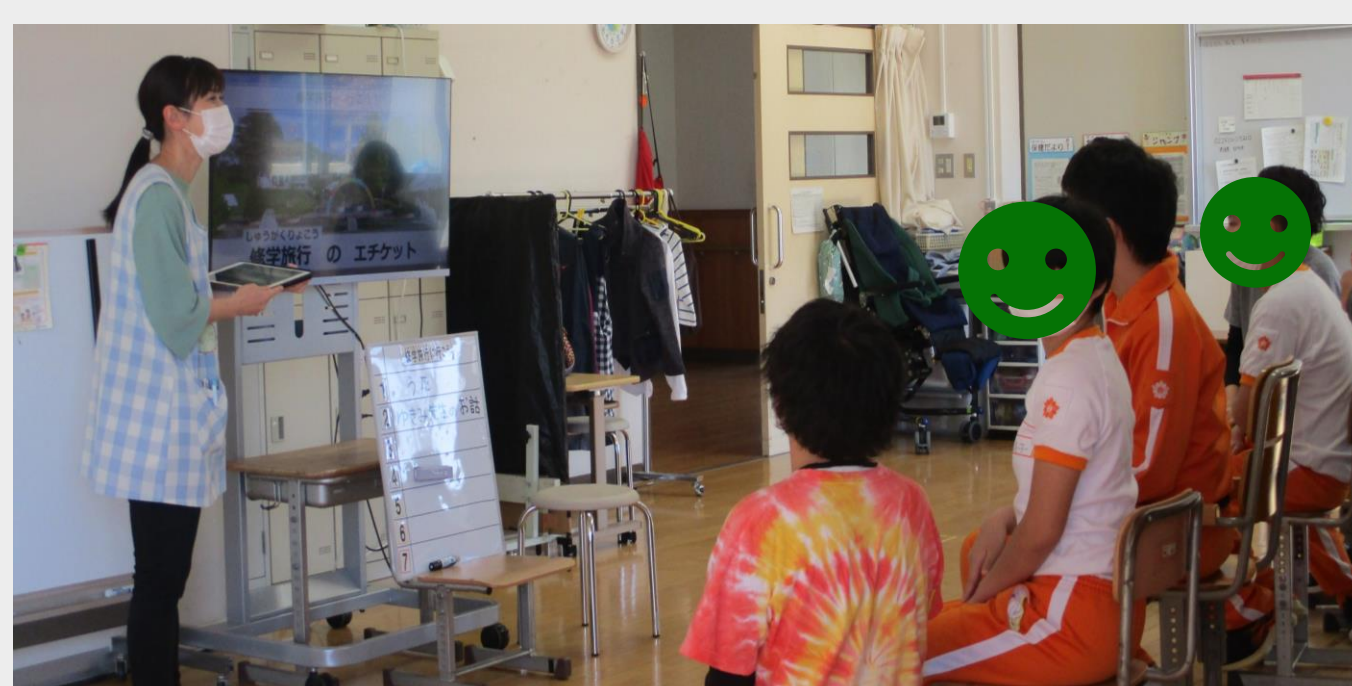
個	教科	個別の目標	評価	メモ欄(配慮・具体的な姿など)
A	知 思 主	図1 いろいろな彩色方法の中から自分がやりたい方法を選び、取り組むことができる。 音1 簡単なメロディを口ずさんだり、リズム打ちをしたりすることができる。		手が汚れることが苦手で、触るのを嫌がるということが考えられるが、示範や友達の楽しんでいる様子で意欲を喚起したい。
B	知 思 主	図1 いろいろな彩色方法の中から自分がやりたい方法を選び、取り組むことができる。 音1 簡単なメロディを口ずさんだり、リズム打ちをしたりすることができる。		視覚支援を充実させて、楽器の演奏に意欲的に取り組めるようにしたい。
C	知 思 主	生1 季節の行事に触れ、飾りなどに興味を持つことができる。 音1 音楽アプリを使って、簡単なリズムやメロディを自分なりに演奏しようとする。		得意な分野を生かしながら経験を広げ、いろいろなものに興味を持てるようにしたい。

一つの単元シートを基に、学年の教員それぞれが実践を行った。単元や個別の目標を十分に共有できたことで、教員間で連携しながら、学年の児童それぞれに効果的な支援を講じることに繋がった。

授業実践の紹介 6年生 生活単元学習「修学旅行へ行こう」



りんご狩りの事前学習



養護教諭による旅のエチケット指導

養護教諭も含めた引率教員で児童の個別の目標を共有することができた。

修学旅行の延期に伴い変更を重ねて完成した単元シート

時	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	教科	個	教科	本単元における個別の目標	評価
1	10/19(火) 4A①	オリエンテーション ・活動予定の確認 ・修学旅行の歌の元になる歌(さんば)を聴く。	○下見の際に撮影した写真や動画を提示し、修学旅行への見通しと期待感を持つようにする。 ○修学旅行の歌の元になる歌を聴く。修学旅行までにみんなが歌詞を考え、自分たちだけの「修学旅行の歌」を作っていくことで修学旅行への意識を高める。	生 国 音	A 知 思 主	知 思 主	買い物をする場所、止まる場所など施設の役割に気が付き教師と一緒に利用することができる。 「○○買う」「○○食べる。」など、施設に応じた利用の仕方を言葉や指差しなどで表現できる。	○ ○ ○
12	10/20(水) A②B①	A 修学旅行の歌(係(あいさつ)司会等)、めあて決め、荷物の確認等(2単位時間=15分×6回)	AO 役割分担を行い、一人一役の活躍の場を設ける。 ○しおり「めあて」「荷物チェックリスト」の欄に記入する。 ・書くことが難しい児童は、頑張ったことイラストを教師と一緒に描ぶことができるようにする。	生 国 体	B 知 思 主	知 思 主	金銭を大切に扱いつつ、家族へのお土産や食べたい食事など自動的に合わせて購入することができる。 様々な施設で働いている人の役割に気が付き、教師に伝えられるようになる。	○ ○ ○
	10/21(木) B②C①	B リナワールド(3単位時間=15分×9回)	BO 動画等を活用して、園内のアトラクションを再現し、疑似体験する場を設定する。 ・事前に園内の雰囲気を知ることにより、見通しをもって活動できるようにする。 ・リストアップしている等、園内のルールやマナーを確認できるようにする。	生	C 知 思 主	知 思 主	リナワールドでは、手首のフリーパスをしたまま活動することが分かる。 百円が食べたい基盤や買いたい物を選んで買うことができる。	○ ○ ○
	10/22(金) D①E①	C ホテルでの過ごし方(2単位時間=15分×6回)	CO 着替えの手順や入浴時のマナー(大浴場の使い方)について説明し、練習する。 ○ホテル館内の過ごし方や食事のマナー等について学習する。給食時や校内の廊下の歩き方、場面を捉え、意識して生活できるようにする。	生	D 知 思 主	知 思 主	「これをください。」「薦めですか。」などのやり取りをしながら、おつりやレシートを正しく取り扱いつつ、買いたい物やホテルの着用品など衛生面を意識し、遊園地で乗りたい物やお店で買いたい物などを教師に伝えながら活動できる。	○ ○ ○
	10/23(土) E②F①	D りんご狩り(1単位時間=15分×3回)	EO 昼食の食事とお土産の買い方を練習する場を設定する。 ・iPadで券売機を再現し、券売機の練習をする。 ・種々なお土産を買うかを考え、決められた金額内で商品を選択・練習ができるようにする。	生 算 体	E 知 思 主	知 思 主	リナワールドやホテルで友達と一緒に活動することが分かる。 買いたい物を選ぶなど、目的に合う買い物を教師と一緒にする。	○ ○ ○
10/24(日) A③B②	E 観光物産館買い物学習(3単位時間=15分×9回)	FO 粘土を使って陶芸の成形を疑似体験できるようにする。 ・雨天時の場合のみの活動という点を踏まえ、おまか作り方の手順に触れる程度にする。		F 知 思 主	知 思 主	身の回りの人との関わり方に関心を持つことができる。 硬貨や紙幣に触れて釜銭の感触を確かめ、教師と一緒に扱おうとすることができる。	○ ○ ○	
10/25(月) C②E②	F 陶芸(1単位時間=1回)							
10/26(火) B③D②								
10/27(水) B④C③								
10/28(木) A④B③								
10/29(金) F②								
11/1(火) A⑤B④								
11/2(水) A⑥B⑤								
11/3(木) A⑦B⑥								
11/4(金) A⑧B⑦								
11/5(土) A⑨B⑧								
11/6(日) A⑩B⑨								
11/7(月) A⑪B⑩								
11/8(火) A⑫B⑪								
11/9(水) A⑬B⑫								
11/10(木) A⑭B⑬								
11/11(金) A⑮B⑭								

7回の実践と単元シート改訂を繰り返して、日常的に単元シートに触れることで、学習指導要領の内容を日々の授業に生かす意識が高まった。

小学部研究のまとめ

- 校務支援システムや研究通信で取り上げられた実践や情報を互いに共有しながら、日常的に研究テーマを意識した授業作りに取り組むことができた。
- 単元シートを活用した授業の実践を通して、それぞれの教員が育成を目指す資質・能力や目標、内容等について理解を深めることができた。
- ティームティーチングを行う教員間で協働的に単元シートを作成することで、単元の目標や個別の目標などを共有して指導に当たることができた。

- ▲ 単元の振り返りや学習評価を効果的に行うために、育成を目指す資質・能力について具体的に想定して指導に当たることができるようしていきたい。
- ▲ 単元シートの有用性をより高めるために、単元シートの記入の方法や活用の機会を考えていきたい。





取組の概要

Table with 2 columns: 指導の形態及び指導内容, 実践数. Rows include 日常生活の指導 (0), 作業学習 (0), 生活単元学習 (9), 保健体育 (1), 自立活動 (0).



中学部2年生の実践

中学部においては、単元の指導に当たる教員10人の内、10人が実践した。実践の割合は100%である。単元シートを活用した実践数は10であった。実践した指導の形態や指導内容は表のとおりである。

研究授業

中学部3年生 生活単元学習 「修学旅行に行こう」

教育課程で示されている段階と個別の目標の段階の違いに気付いた実践です。



育成を目指す主な教科等の資質・能力

- ①【社会：中1：ア(イ)ア】家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さが分かること。
②【社会：中1：イ(ア)ア】身近な公共施設や公共物の役割が分かること。
③【社会：中1：Cア(ア)】生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする。
④【職業：中1：Aイウ】材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ること。
⑤【国語：中1：Aア】身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること。
⑥【国語：中1：Aイ】話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めること。
⑦【社会：中1：ア(イ)イ】社会生活ときまりとの関連を考え、表現すること。
⑧【社会：中1：学び】身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。

単元シートを活用した実践例

中学部2年生 生活単元学習 「夏を楽しく」

育成を目指す主な教科等の資質・能力

- ①【家庭：中2：Bオ(ア)】住まいの整理・整頓や清掃などに関わる学習活動を通して、快適な住まい方や、安全について理解し、実践する。
②【理科：中2：Bイ(ア)イ】身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の生長と季節の変化に着目して、それらに係りつけて調べる活動を通して、植物の生長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを身に付ける。
③【家庭：中2：Bオ(イ)】住まいの整理・整頓や清掃などに関わる学習活動を通して、季節の変化に合わせた快適な住まい方に気づき、工夫する。
④【理科：中2：Bイ(イ)イ】身近な動物や植物の変化について調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現する。
⑤【社会：中2】社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養おうとする。
⑥【家庭：中2】家庭や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身に付けようとする。

Table with 4 columns: 個, 教科, 本単元における個別の目標, 評価. Rows A through K show individual student goals and evaluation results.

Table with 4 columns: 個, 教科, 本単元における個別の目標, 評価. Rows A through F show individual student goals and evaluation results.

中3の単元ですが、生徒の実態から単元を考えたら、「育成を目指す主な教科等の資質・能力」が全て中1段階になってしまいました。これでいいのかな？

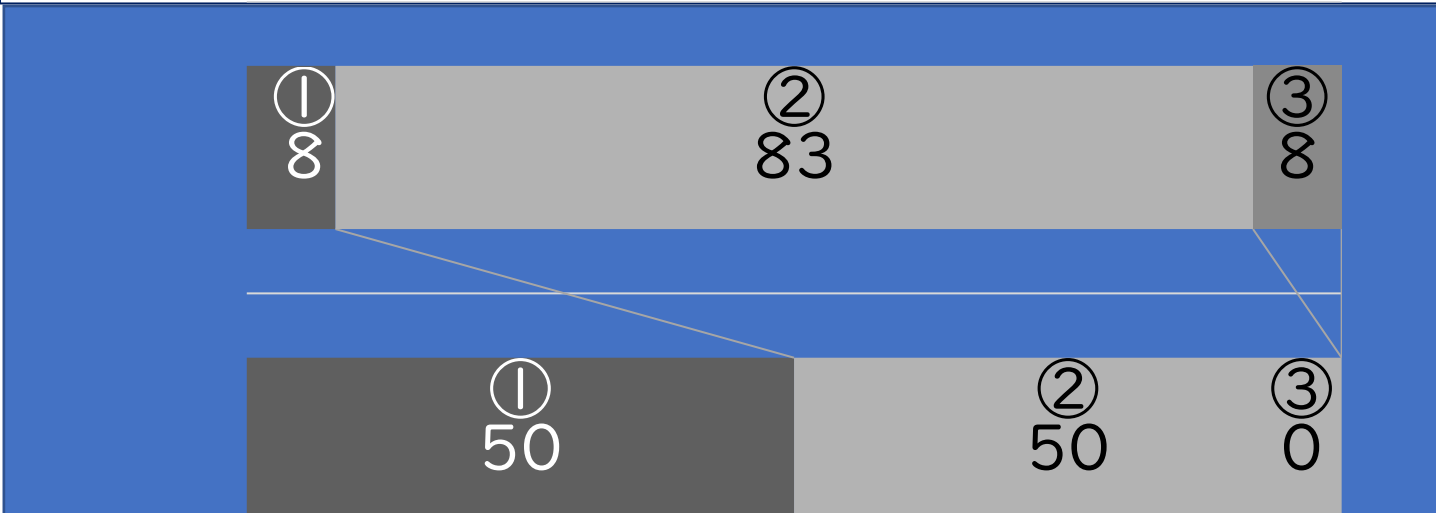


研究授業の取組については、左のQRコードにて動画による説明をしている。研究授業を通して、主に下記に示した4つの学びを得ることができた。

- ▷ 視点を焦点化した参観とワークショップ型事後検討会
▷ 資質・能力の育成を踏まえた単元の構成や学習内容
▷ 実践しての疑問の共有
▷ 生徒一人一人の実態に合わせた個別の目標と手立ての工夫

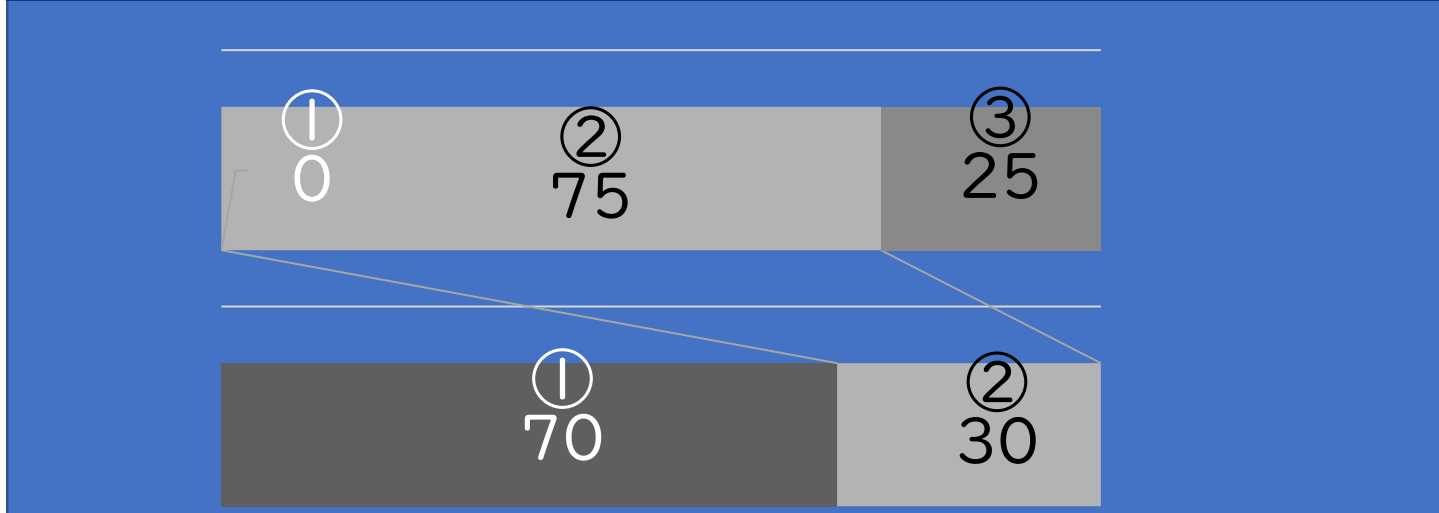
意識調査の結果と考察

2. 学習指導要領で示されている目標及び内容について、当該の段階と下の学年の段階の児童生徒が学習集団を形成している場合、それぞれの児童生徒の段階を踏まえて実践している。



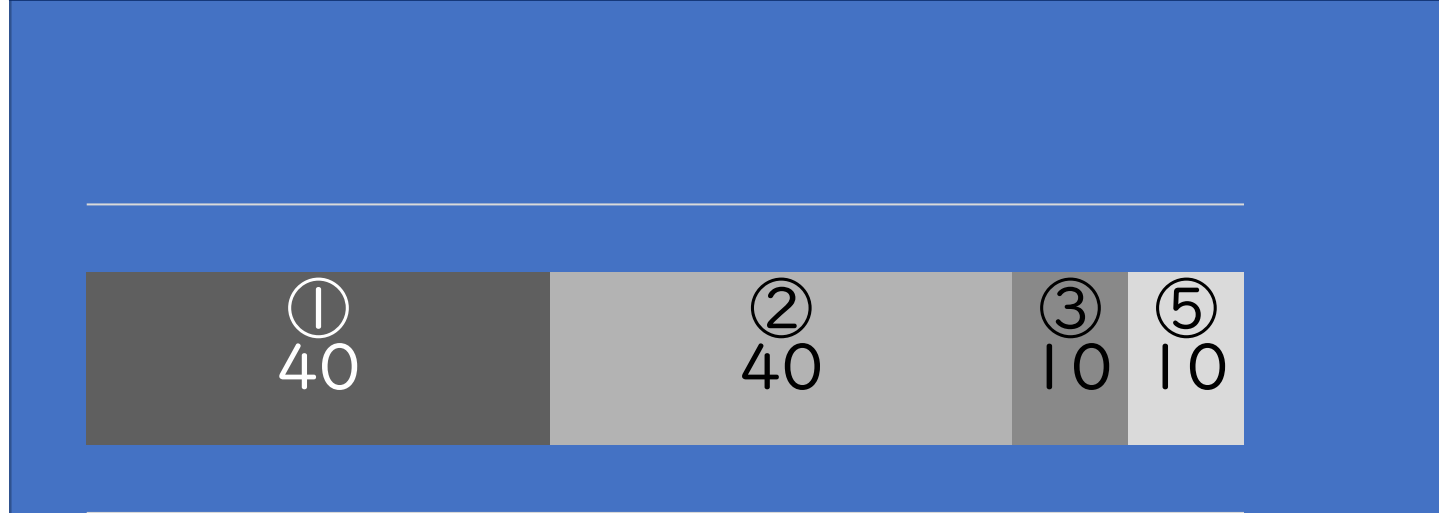
【考察】前期に比べ後期は①の回答が42ポイント増え、③の回答がなくなった。このことから、生徒一人一人に応じた目標を踏まえて実践する意識が高まったと言える。

3. 学習集団を形成している児童生徒一人一人の目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容を検討している。



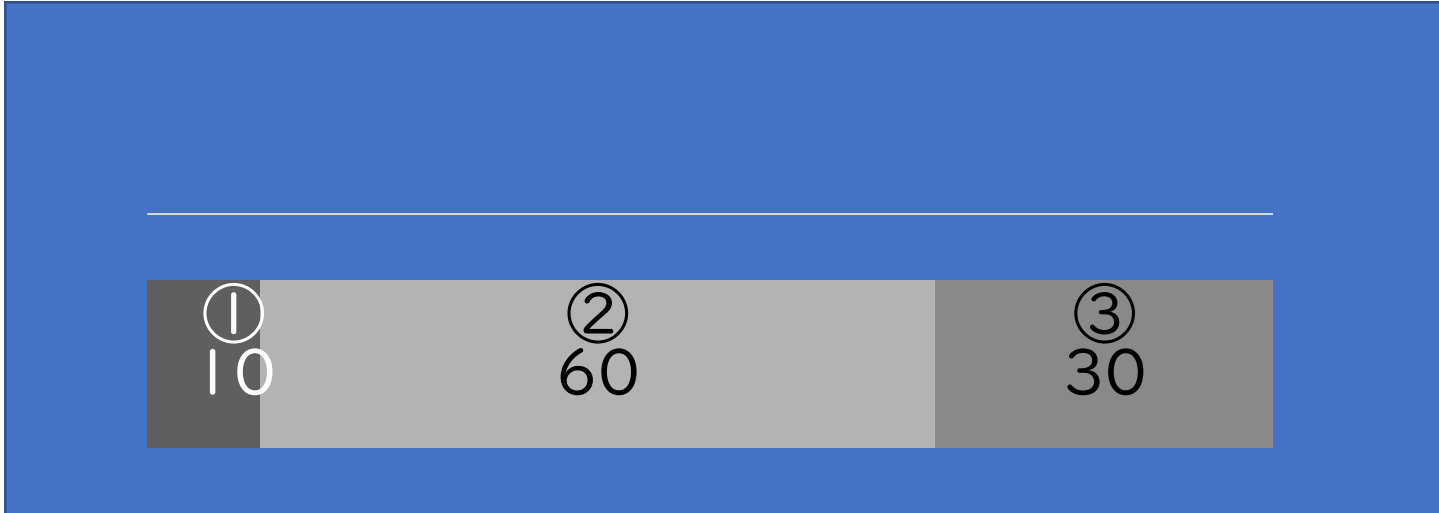
【考察】①の回答が0%から70%に、③の回答が25%から0%になった。生徒一人一人の目標や手立てを踏まえ、教員間で協働して学習内容を検討する意識が高まったと言える。

8. 単元シートを活用することに効果を感じている(後期のみ)。



【考察】①②を合わせた回答が80%だった。このことから、単元シートを活用することに効果を感じている教員が多いと言える。

9. 単元シートを作成することに負担を感じた(後期のみ)。



【考察】①②を合わせた回答が70%だった。このことから、単元シートの作成に負担を感じている教員が多いといえる。

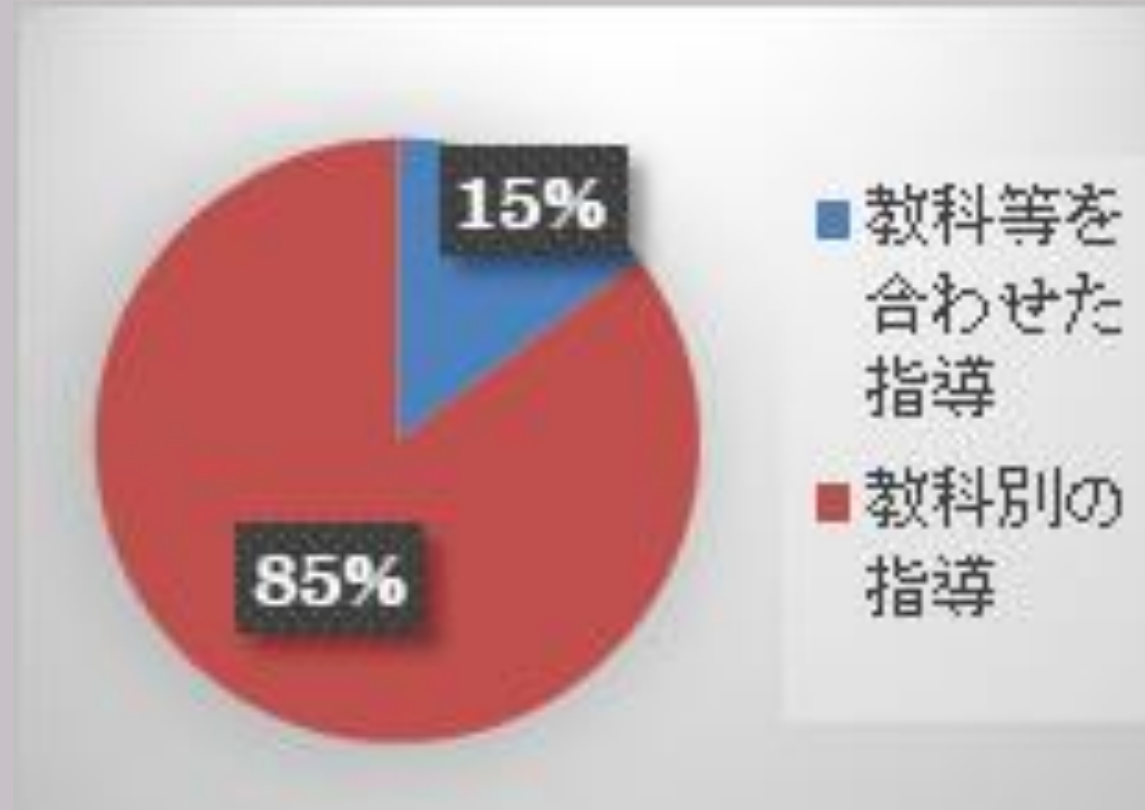
研究のまとめ

- 学習指導要領で示されている目標及び内容について小学部段階まで下ろして目標を設定するなど、全ての実践でそれぞれの生徒の段階をふまえた実践実践が行われた。
○生徒一人ひとりの目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容を検討したり、単元の反省を共有したりすることができた。
▲シートを作成することに大きな負担を感じている教員よりも効果を感じている教員が多いものの、負担感を軽減する工夫は検討したい。



取組の概要

Table showing the number of practical activities for each subject and category. Categories include 'Integrated Guidance' (15%) and 'Subject-specific Guidance' (85%).



単元の指導に当たる教員27人の内、27人が実践した。実践の割合は教科等を合わせた指導が15%、教科別の指導が85%であった。

研究授業

高等部2年生 C課程 数学 「金銭」(10月14日)

研究授業の取組については、左のQRコードにて動画による説明をしている。研究授業を通して、主に下記に示した四つの学びを得ることができた。

- 4 points of learning: 1. Quality and ability cultivation, 2. Focused workshop-style discussions, 3. Learning through practice, 4. Connection between quality/ability and guidance.



「育成を目指す資質・能力」

現行の学習指導要領

新しい学習指導要領

高等部数学1段階 「金銭や時計・暦などの正しい使い方が分かる」

「A数と計算」「B図形」「C変化と関係」「Dデータの活用」の四つの領域となった。

金銭の価値や取り扱いについて、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の三つの領域を関連させて計画を検討し、実践した。

育成を目指す主な教科等の資質・能力

Table detailing the quality and ability goals for subjects like Mathematics, including specific learning objectives for numbers, graphs, and data.

▲ 育成を目指す資質・能力が増え、育成できたかどうかの確認が難しかった。

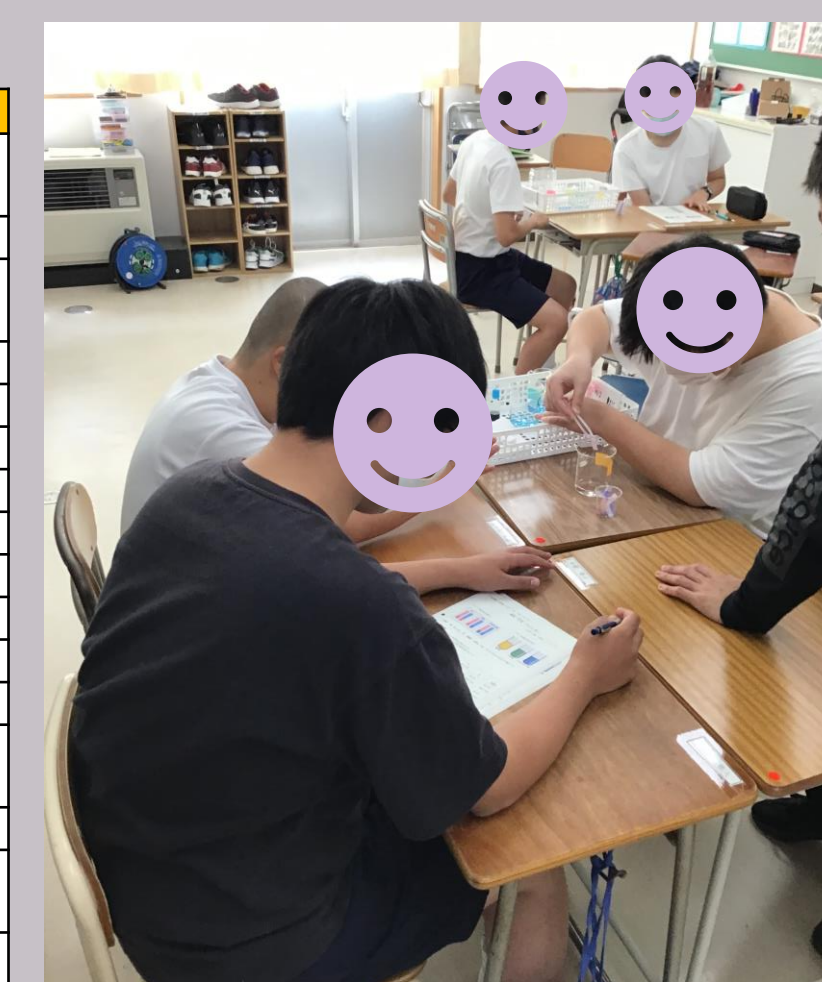
単元シートを活用した実践から一部紹介

高等部2年生 理科 「身のまわりの不思議」



学習到達度を意識した実践をすることができた。

Table of individual learning goals for the science lesson, including objectives and evaluation criteria.



個別の目標に合わせて手分けして実験を行った。

高等部3年生 美術 「造形作品を考えよう」



育成を目指す資質・能力から単元の目標を明確にした実践をすることができた。

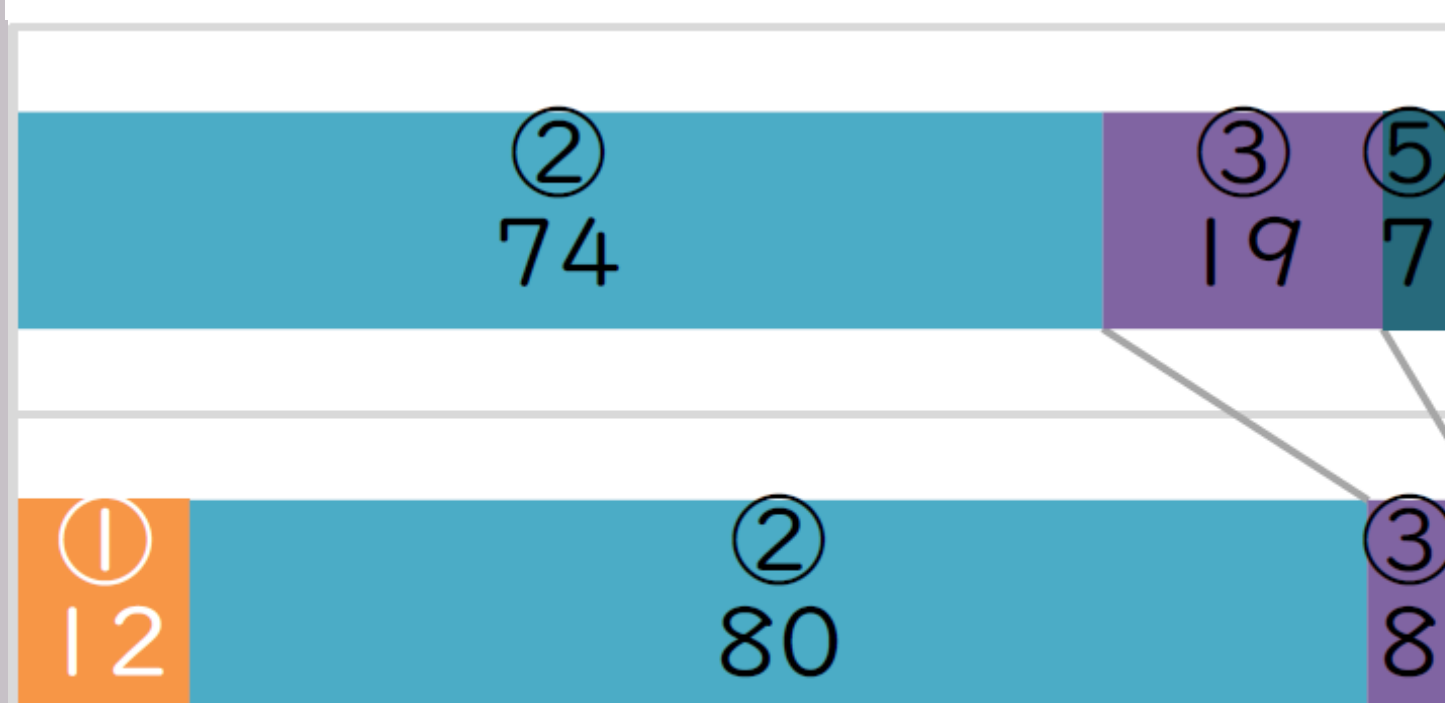
「育成を目指す資質・能力」「単元の目標」

Table listing the main quality and ability goals for the art lesson and the specific unit objectives.

Table showing the unit objectives and the results of a survey on student understanding.

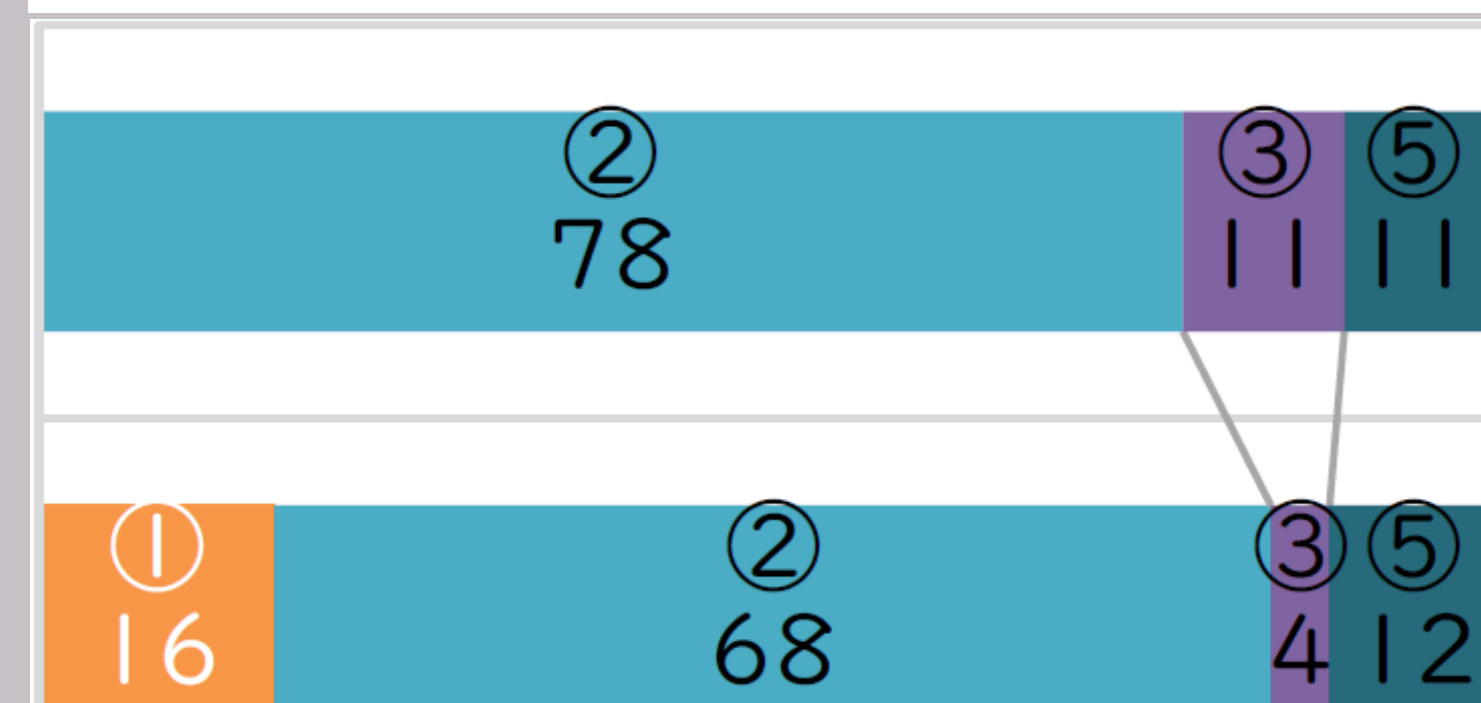
意識調査の結果と考察

1. 単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践している。



【考察】前期に比べ後期は①②の回答が18ポイント増えた。このことから、単元の目標と育成を目指す資質・能力との関連を踏まえた実践する意識が高まったと言える。

2. 学習指導要領で示されている目標及び内容について、当該の段階と下の学年の段階の児童生徒が学習集団を形成している場合、それぞれの児童生徒の段階を踏まえて実践している。

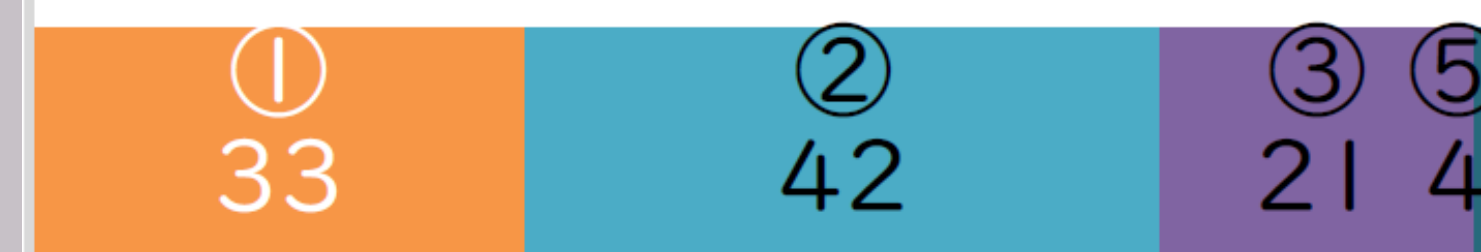


【考察】前期に比べ後期は①の回答が16ポイント増えた。このことから、日々の実践において、生徒一人一人に応じた目標をより意識することが増えたと言える。

8. 単元シートを活用することに効果を感じている(後期のみ)。



9. 単元シートを作成することに負担を感じた(後期のみ)。



【考察】設問1-8において①②の回答が52%であり、設問1-9において①②の回答が75%だった。このことから、単元シート活用における一定の効果は感じているが、作成における負担をより大きく感じているといえる。

高等部研究のまとめ

- Summary points: 1. All staff used unit sheets. 2. Checked standards while aiming for quality/ability. 3. Considered individual goals. 4. Shared with colleagues. 5. Time-consuming but effective. 6. Connected individual goals to overall quality/ability goals.